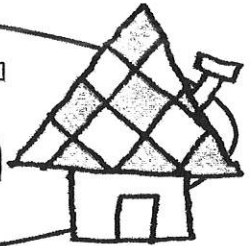


2年学年通信

大阪市立淀川中学校 9月17日 NO.7



防災学習をしました

9月12日(金)地域防災リーダーのみなさん・区役所・消防署をお招きして防災学習を実施しました。

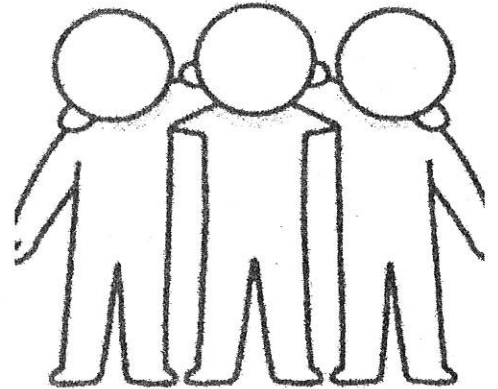
防災講話では、都島区が南海トラフ巨大地震の際、一部地域が浸水域に入り、液状化により建物の倒壊が起こることが予測されていることがわかりました。また津波の第一波は、1時間50分で大阪市に到達し、都島区の予測死者数は153人ですが、地震発生後10分以内に避難を開始した場合は0人だそうです。

地震に備えて：食料を備蓄する・家具を固定する

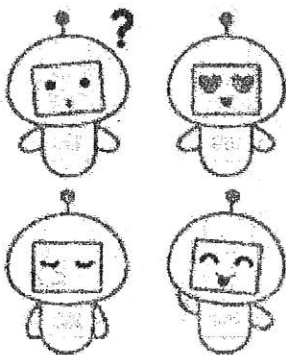
地震が起きたら：自分の身を守る・津波警報が発表されたら津波避難ビルなど高いところへ避難する

2時間目は、地域防災リーダーのみなさんと地域ごとに分かれて自分の町の特徴について話し合いました。

地域の一員としてあなたには何ができるのか、考えてみましょう。



普通？誰でも？みんな？



吉本興業に勤務していた竹中功さんが長年にわたり取り組んだのが、刑務所などの矯正施設での講義です。コミュニケーションの連鎖が作る「お笑い」を、出所後の生活にも使える「コミュニケーション」として伝えていくことで「自立支援」を行いました。

竹中さんは普段の生活で「普通」「誰でも」「みんな」という言葉を軽々しく使わないようにしているといいます。なぜなら、これらの言葉を簡単に使うと、「共通の理解のもとで使っているつもりなのに、行き違いやくいちがいが生まれるから。」だそうです。

「あなたの普通は私の普通とは限らない」のだから簡単に使ってはいけないのです。他人に「普通」を強制するのではなく、互いの違いを認めて、「普通」「誰でも」「みんな」ではなく、「私」の気持ちを相手に伝えていきましょう。

『よしもとで学んだ「お笑い」を刑務所で話す』 竹中功 著 にんげん出版より